

平成20年度 秋田県農業集落排水連絡協議会研修会

共催／秋田県農村総合整備センター

11月20～21日、湯沢市と羽後町に於いて「平成20年度秋田県農業集落排水協議会研修会(共催 秋田県農村総合整備センター)」が開催され、全県から県、市町村、県土連の職員35名が参加した。

開会挨拶

◇三浦貞一 水土里ネット秋田専務理事

「農業・農村を取り巻く状況及び秋田県の農業集落排水事業の現状や今後の見通し等」を要旨に挨拶した。

■11月20日【研修内容】

①「我が国の食料需給の現状と課題」 ◇東北農政局整備部地域整備課長 赤倉正弘

今年は「中国餃子事件」に端を発し、「事故米の食用転用事件」、「食品の偽装表示」など、食に関わる多くの事件が今なお発生している。食の安全安心や食料自給率、食育など、食に関して人々の関心が高まっていることから、今回の研修テーマとし、赤倉課長に講師をお願いした。



▲東北農政局赤倉課長

②「コンクリート構造物の維持管理(損傷事例にもとづく点検のポイント)」

◇水土里ネット秋田環境整備部集落排水班副主幹 加藤俊逸

③「農業集落排水(機能強化(改築)技術)」

◇水土里ネット秋田環境整備部集落排水班主査 鈴木幸治

④「湯沢市皆瀬の地域おこしの事例について」

◇湯沢市皆瀬総合支所地域企画課主査 沼倉 誠

米依存から脱却するために中山間地の自治体の担当者として取り組んだ水田転作対策や地域振興対策事業の経験を踏まえて、成果が上がった事例や思うようにいかなかった事例などを取り混ぜながら講演された。



▲研修状況

そして、これからの地域づくりは「その地域に合ったスタイルで地域の住民が主体となって地域のみんで取り組むこと」が必要であると結ばれた。

⑤「農業用水利施設ストックマネジメント事例」について

◇秋田県雄勝地域振興局農林部農村整備課 ふる里づくり推進班主幹(兼)班長 大木 寛

意見交換会・地元歓迎挨拶

◇湯沢市下水道課 阿部課長

当地「小安温泉」及びこの周辺は今年の6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震で大変大きな被害を受けた。地震のダメージは大きく、特に岩手県や宮城県から入ってくる道路が壊滅状態となり未だ遮断されたままである。今後、いつ頃までに復旧されるかの見通しも立たない状況であることから、我々を始め関係者は大きなショックを受けている。このように取り巻く環境が非常に厳しい中で、本研修会が当地で開催されることは地元にとって大変力強い激励となっており心から感謝申し上げたい。この機会に多くの方々と情報交換され、今後の業務のプラスになるように御祈念申し上げたい。

■11月21日【現地研修】 「土館地区農業集落排水処理場(羽後町)」

◇羽後町建設課 ◇水土里ネット秋田環境整備部・管理情報部

農業集落排水処理場の動力制御盤の点検手法やモーターの維持管理等について、土地連管理情報部施設管理班 阿部専門員、佐々木専門員の指導の下、聴芯棒や温度測定器、振動測定器を使用した点検方法や触手による温度測定等について実地体験も組み入れた研修を行った。



▲聴芯棒による聴診

【おわりに】

当日は、研修会場の小安温泉が40～50cmの積雪になる今年初めての本格的な雪にも関わらず全県から多くの方に参加を頂き、また、研修会開催にあたっては県雄勝地域振興局、湯沢市、羽後町の皆様に多大な御協力を頂きました。併せてお礼申し上げるとともに、6月の地震災害で被害に遭われた皆様の一日も早い復興を御祈念申し上げ結びとします。



▲測定器による温度測定

技術向上に向けての 取り組み

業務成果発表会・内部研修

■平成20年度第2回業務成果発表会で成果説明力向上研鑽

今年度2回目となる業務成果発表会が7月に引き続き10月30日(木)に実施した。

環境整備部が内部研修として継続的に行っているもので、今回は「農道の設計について」と「農業集落排水事業について」それぞれ2名の職員が発表した。

その後、内容がどうであったか、分かりやすかったかなどの質疑が行われ、「目的が分かりにくい、説明者の資料ではないか、聞く者へ分かりやすく伝わるように作るべきだ」など、厳しい評価がなされ、聞く側として多くの建設的な意見が出され有意義に終え、成果品の説明・表現力の改善につながる研修となった。



■平成20年度第2回内部研修 (技術力向上研修)

今年度2回目となる技術力向上研修が、5月に引き続き12月1日(月)に実施した。農村振興技術連盟会員を対象に午前と午後にそれぞれ25名程ずつ業務に支障をきたさないように行われ、開講にあたり資格取得が急務である現実を踏まえ「資格取得に向けた取り組み」と題して、総務企画部長が受託環境の変化や資格取得年次計画などについて講義し、本会の受託収入を維持できるか、今後の資格取得が鍵となるとして「年代に応じた資格取得に向かってほしい」と述べた。



続いて、9月に農村工学研修所で2週間の土木地質専門技術研修を終えてきた職員から技術の共有を目的に講義が行われた他、環境に配慮したほ場整備における生態系保全の取り組みについての発表が行われた。

こうした内部研修を通じて職員の技術力・発表力向上に日々研鑽していることの効果が会員への支援につながるものとして期待されます。

各種研修会・会議の開催

■農業農村整備の集い：11月18日（東京都）

全国水土里ネット主催の「農業農村整備の集い」が開催され、全国各地の土地改良関係者や国会議員など約700名が参集。第1部が「ため池のある風景」写真コンテスト表彰式、第2部では長編アニメーション映画「パッテンライ！」の特別試写が行われた。第3部の大会では、野中広務全国水土里ネット会長の挨拶に続いて、特別決議が提案され、満場一致で決議された。また、石破茂農林水産大臣の来賓祝辞、仲條康朗農村振興局長からの情勢報告があったのち、協議に入り、意見発表や佐藤昭郎参議院議員による提言のほか、6項目からなる平成21年度予算確保に向けた決議を採択した。

■第31回全国土地改良大会秋田大会・第4回運営委員会：12月18日（秋田市）

秋田大会の第4回運営委員会を開催。10月に開催された第31回全国土地改良大会の大会参加実績や大会決算報告、大会スタッフ及び併催行事出展団体の参加実績、県内経済波及効果実績などが報告された。また、次期開催県である島根県への事務引継までの今後のスケジュール等について確認した。

■平成20年度換地処分実務研修：12月19日（秋田市）

換地処分事務に従事している土地改良換地士、その他換地処分従事者及び換地計画実施（予定）地区の担当者や役員、委員等を対象に、換地処分事務の促進を図るための研修会を開催。実務担当者や関係者など約120名が参加した。東北農政局や秋田南税務署、秋田県農林水産部から講師を招き、換地処分実務に関する講習を受けたほか、新城川土地改良区の安田理事長及び大仙市神岡総合支所農林振興課の石山主幹が事例発表を行った。

連合会日誌

10月28日	六郷西部地区経営体育成基盤整備事業竣工式典、祝賀会並びに記念碑除幕式	美郷町
10月28日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会平成20年度第2回事務主任者会議	仙台市
11月5日	豊川地区経営体育成基盤整備事業除幕式、竣工式並びに祝賀会	大仙市
11月7日	本会第5回及び第6回監事会	本会「第1会議室」
11月12日	「田沢二期地区」地域用水対策協議会設立準備会	大仙市
11月14日	全国土地改良施設管理事業推進協議会第12回通常総会	東京都
11月17日	平成20年度第2回水土里事業担当者会議	東京都
11月26日	大館・北秋田支部平成20年度政策提言活動（～28日）	東北農政局・国会議員会館
11月27日	東北・北海道農業農村整備事業に関する要請活動	東京都「農林水産省」
11月29日	2008東北こどもサミットin仙台	仙台市
12月4日	平成20年度農業農村整備事業品質確保支援研修会（～5日）	仙台市
12月15日	水土里ネット秋田・山本支部政策提言活動（～16日）	仙台市「東北農政局」
12月15日	本会132条検査（～17日）	本会「第1会議室」
12月18日	本会第7回監事会及び第3回理事会	本会「第1会議室」
12月19日	「田沢二期地区」地域用水対策協議会設立総会	大仙市
12月19日	平成20年度換地処分実務研修	秋田市
12月22日	秋田県米政策推進協議会	秋田市

今後の行事予定

1月14日	平成20年度農業集落排水担当者全国研修会（～15日）	東京都
1月27日	平成21年度土地改良施設維持管理適正化事業等実施計画打合せ	東京都
1月29日	平成20年度換地計画推進全国会議	東京都

水土里ネット秋田の動向

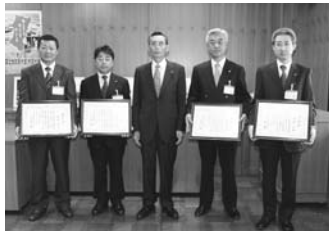
— 活動報告 —

【平成20年度中間監査】

11月7日、本会第1会議室で平成20年度中間監査を実施。会計諸帳簿及び予算執行などは適正と認められる。

【平成20年度永年勤続功労者表彰】

11月11日、本会職員として事業推進に尽した功労者を表彰する永年勤続功労者表彰式が、本会第1会議室で行われた。表彰を受けた職員は次のとおり。



〔勤続30年表彰〕

◇三浦寛経(農地整備部) ◇猪俣公(環境整備部)
◇津谷和弘(農地整備部) ◇佐藤求(農地整備部)

【東北・北海道農業農村整備事業に関する要請活動並びに意見交換】

11月27日、東北・北海道土地連絡協議会が農林水産省農村振興局に対し、農業農村整備事業に関



する要請活動並びに意見交換を実施。本会から高畑会長、三浦専務理事、池田総務企画部長が出席。

【第3回会長・副会長会議】

12月10日、本会役員室で開催。第3回理事会の議案などを協議。

【ISO9001：再認証審査】

12月10～12日、本会会議室などを会場にISO9001の再認証審査が実施された。登録審査機関となっているMSA(株式会社マネジメントシステム評価センター)の審査員2名が来会し、対象業務について担当職員が審査を受けた。

【本会・132条検査】

12月15～17日、本会で土地改良法第132条検査が実施された。東北農政局の担当者2名が来会し、業務状況並びに会計処理に関する検査を受けた。

【第7回監事会・第3回理事会】

12月18日、第7回監事会並びに第3回理事会を開催。平成20年度一般会計補正予算を審議。また、業務報告として平成21年度職員採用、創立50周年記念式典の決算状況、東北・北海道連絡協議会の要請活動状況などが報告された。

会員だより

理事長就任のお知らせ

○秋田県能代地区土地改良区は、11月8日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 鷲尾 弘

○峰浜土地改良区は、12月3日付けで理事長が下記のとおり就任されました。

理事長 武内 浩

新土地改良区の設立について

【二ツ井町土地改良区】

2月19日に合併予備契約を締結していた能代市(旧二ツ井町)の4土地改良区(二ツ井町小繫、山本郡二ツ井町切石、荷上場、下田平)が、新たに「二ツ井町土地改良区」として11月10日にスタートしました。新土地改良区は、受益面積303ha、組合員424人。

○新土地改良区

- ・名称 二ツ井町土地改良区
- ・代表者 理事長 石山 金由
- ・住所 能代市二ツ井町切石字山根73
- ・電話 0185-73-3554

(旧山本郡二ツ井町切石土地改良区事務所)

○合併により解散した土地改良区

- ・二ツ井町小繫土地改良区
- ・山本郡二ツ井町切石土地改良区
- ・荷上場土地改良区
- ・下田平土地改良区